

対 象 学 年	小学校 第2学年
学 習 指 導 要 領	(3)(5)(7)
単 元 名	「やさいづくりにちょうせん」 (全26時間)
単 元 目 標	<p>季節ごとに異なる野菜の成長や変化の様子に関心をもち、親しみをもって大切に世話をしたり、観察したりすることができる。また、地域の野菜作り名人さんと親しみをもってかかわり、楽しんで野菜の世話などを行うことができる。 (生活への関心・意欲・態度)</p> <p>地域の人と適切にかかわり、工夫して野菜を育てるとともに、季節ごとに収穫した野菜を使って生活を工夫したり楽しんだりできる。また、世話の苦労や工夫、野菜のことについて表現することができる。 (活動や体験についての思考・表現)</p> <p>野菜の成長や変化、それに応じた世話の仕方、生命をもっていること、季節により野菜とかわる生活に違いがあること気付くことができる。また、地域の方と上手に接して生活すると楽しいことに気付いている。 (身近な環境や自分についての気付き)</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 単元指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春まき、秋まきと2つの季節の野菜作りに取り組むことを通して、四季の変化を実感するようにする。 ・年間を通して地域の野菜作りの名人とかかわりながら栽培活動を進める。野菜の成長や野菜の種類に応じて、世話の仕方が異なることに気付くように野菜づくりの名人とのかかわりを深めていくよう指導計画を立案する。 ・繰り返し、畑での栽培の体験をしていく中で、野菜の成長に関する気付きが深まる指導計画を立案する。 <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜への思いが表現できるように、絶えず野菜に話しかけ、野菜と触れあう活動を設定する。例として、種まき後、土の中の種に向かって、「早く芽を出してね。」とか、苗に「元気に育っているね。」などの自分の思いを表現する場面を必ず設定する。 ・児童にできることとできないことがある。教師が事前に準備しておかなければいけないこと(畑の耕し、畝作り、種まきの時期の検討)を明確にしておき、児童が満足できる活動内容にする。 <p>教師の指導・援助とねらいの明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の世話を進んで行っている児童を認め、根気強く世話ができるように全体に広める。 ・失敗したときは、植物の命について考えるよい機会とする。原因等共に考える援助を行う。 ・ねらいに基づいた声かけや次時へつながる評価と指導ができるように配慮する。
参 考 資 料	資料1 農事暦(年間を通した野菜づくり)

2 単元の評価規準

【学習指導要領の内容】(2)「家庭と生活」
 家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。

【学習指導要領の内容】(8)「自分の成長」
 多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

	ア生活への関心・意欲・態度	イ活動や体験についての思考・表現	ウ身近な環境や自分についての気付き
内容ごとのまの と評ま価 り規 準 (2)	家庭生活に関心をもち、自分の役割を積極的に果たそうとするとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとする。	家庭生活を支えている家族のことや、自分でできることなどについて考え、それを表現することができる。	家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどに気付いている。
内容ごとのまの と評ま価 り規 準 (8)	自分の成長に関心をもち、これまでの成長を振り返ったり、これからの成長への願いをもって意欲的に生活したりしようとしている。	工夫して自分の成長を振り返るとともに、分かったことや成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちなどを表現することができる。	大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた多くの人々がいることに気付いている。
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることを継続的に行おうとしたり、家族の中での自分の役割を意欲的に果たそうとしたりしようとする。 自分の成長に関心をもち、進んで成長の過程を振り返ったり、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることなどについて考えることができる。 様々な手掛かりをもとにして、過去の自分と現在の自分を比較し、表現することができる。 成長の喜びや成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭において自分でできることが分かり、それを進んですることが大切なことに気付いている。 自分の成長について、喜んだり励ましたりしてくれた多くの人々がいることに気付いている。 これからも成長しようとする、成長への願いや夢があることに気付いている。
活 動 の 内 容 に お け る	<p>家庭でのお手伝いについて意欲的に自分の生活を振り返り、発表しようとしている。</p> <p>1年生の頃と比べて、できるようになったことなどに関心をもち、進んで調べようとしている。</p>	<p>1年生の頃と比べてできるようになったことを中心に表現することができる。</p> <p>様々な物を手掛かりとして、過去の自分と現在の自分を比較し、成長を表現することができる。</p>	<p>自分でできることを進んですることが大切なことに気付いている。</p> <p>1年生の時の様子を振り返り、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かる。</p>

<p>評価規準</p>	<p>小さい頃の様子に関心を持ち、その頃のことを知るための手掛かりを探そうとしている。</p> <p>自分が大きくなったこと、自分でできるようになったことなど、自分の成長を意欲的に伝えようとしている。</p> <p>自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを伝えようとしている。</p> <p>3年生に向けて希望や期待をもちながら意欲的に生活していこうとする。</p> <p>自分の成長を振り返り、現在家庭で行っていることを続けていこうとしている。</p>	<p>これまでの自分の成長について、自分なりの方法で表現することができる。</p> <p>成長の喜びや感謝の気持ちを表現することができる。</p> <p>友だちの成長ぶりを知り、現在のよさを伝えることができる。</p> <p>成長の喜びや感謝の気持ち、これからの成長への願いなどを表現することができる。</p> <p>家庭生活においても自分でできることを増やしたり、家族の一員としての自分の役割を考えたりすることができる。</p>	<p>小さい頃のことについて発表することを通して、自分が大きくなったことや、心の成長に気付いている。</p> <p>自分の成長を喜んだり、励ましたりしてくれた多くの人々の存在に気付いている。</p> <p>友だちの手紙の内容から自分の成長をさらに実感している。</p> <p>1年間の作品やファイルを整理し、2年生の自分の生活などを振り返ることを通して、自分の成長に気付いている。</p> <p>これからも成長できることや、成長への願いや夢があることに気付いている。</p>
-------------	---	---	---

3 指導と評価の計画（全26時間）

時	ねらい (記号): 具体的な10の視点	学 習 活 動	評価規準と評価方法	指導・援助
1	野菜には春蒔きと秋蒔きがあることを知り、農園で育てる野菜を話し合っ て決め、1年間の見通しをもつことができる。 (キ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">農園でどんな野菜を育てるか決めよう。</div> <p>近くの畑を見て、関心を高める。 みんなで育てられそうな野菜の名前を出し合う。 春蒔き野菜と秋蒔き野菜の違いを知る。 農園で育てる野菜を決める。 どんな世話をしたらよいか考える。</p>	<p>・自分たちの生活は、たくさんの野菜とかがわっていることに気付いている。 <div style="text-align: center;"><ウ- > (発表)</div> </p>	<p>・家庭での前日の夕食や今朝の朝食をきっかけに、どんな野菜が食卓にならんだか問いかける。 ・自分の家で育てている野菜について問いかける。</p>
2	畑作りの名人さんと出会い、成長を願いながら一緒に苗を植えたり、種まきしたりすることができる。 (イ)(カ)	<p>畑作りの名人さんの紹介を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">名人さんに教えてもらって、ミニトマトの苗植えと落花生とかぼちゃの種まきしよう。</div> <p>ミニトマトの苗は、茎や根を傷めないように扱って植える。 落花生とかぼちゃの種の特徴と、水やりの仕方を聞いて種まきする。</p>	<p>・思いやりをもって扱い、成長を願いながら苗を植えたり、種まきをしたりしている。 <div style="text-align: center;"><ア- > (つぶやき・手つき)</div> </p>	<p>・成長への願いをはっきりもたせるよう、ペアや全体で願いの交流をする。 ・「種さんへ」と、願いをつぶやきながら、種まきをする場を設定する。</p>
3	野菜に対する成長の願いややさしさが表れるように絵や文で書くことができる。 (オ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">種まきや苗植えをしたときの様子や気持ちがよく分かるように絵と文で書こう。</div> <p>種まきや苗植えをしたときのことを思い出し、話し合う。 種まきや苗植えのときの様子や気持ちが分かるように絵や文で表す。</p>	<p>・野菜の種の様子や蒔き方、成長への願いなど野菜に対する思いを絵や文で表すことができる。 <div style="text-align: center;"><イ- > (作品)</div> </p>	<p>・どんな気持ちで種まきをしたのか交流する場を設定する。 ・前時の学習での児童の姿を把握しておき、学級に広める。 ・野菜に対する自分の思いが表れている児童の作品を価値付け、全体へ広める。</p>
4	大豆の種の様子を観察し成長の願いを込めて種まきするとともに、落花生とかぼちゃの苗を移植することができる。 (イ)(カ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大豆の種まきと落花生・かぼちゃの苗を畑に移植しよう。</div> <p>大豆の種を観察し、どこからどのように芽が出て成長するか考える。 大きく育った落花生とかぼちゃの移植をする。</p>	<p>・芽が出て徐々に大きくなっていく野菜の苗に興味をもって観察するとともに、大切に畑へ移植している。 <div style="text-align: center;"><ア- > (つぶやき・手つき)</div> </p>	<p>・植物が傷まないように思いやりをもって扱っている児童の思いを聞き、学級に広める。 ・苗の芽が切れない持ち方を示し、野菜がどんな気持ちでいるか考えさせる。</p>
5	さつまいもと大豆の苗の様子を知り他の野菜と比較し	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">さつまいもの苗植えの仕方を知り、大豆の苗と一緒に畑へ移植しよう。</div>	<p>・野菜によって、葉の形や成長の変化の違いがあることに気付いている。 <div style="text-align: center;"><ウ- > (つぶやき・振り返りの内容)</div> </p>	<p>・これまで植えた野菜と比較しながら、それぞれの野菜の特徴がつかめるように助</p>

	ながら移植することができる。 (イ)(カ)	さつまいもの苗の植え方を知る。 さつまいもと大豆の苗を移植する。 気付いたことを振り返り交流する。		<p>言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの生活科の観察記録を振り返ると良いことを助言する。 ・野菜づくり暦を作成し、掲示しておき、比較する手だてとする。
6	肥料の大切さが分かり、野菜を丈夫に育てる願いを込めて肥料やりができる。 (イ)(カ)	<p>野菜が元気に育つために肥料をやろう。</p> <p>名人さんに化学肥料と有機肥料の違いを聞く。 肥料の施し方を聞き、畑にまく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成長への願いを込めて、進んで肥料をまいている。 ＜ア - ＞（行動観察・つぶやき・振り返りの内容） 	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料のまき方の姿から、その背景にある児童の思いを問いかけ、引き出して学級に広める。
7	とうもろこしの種を直まきして、鳥や人が立ち入らないように囲いや看板を工夫することができる。 (イ)(カ)	<p>とうもろこしの種まきをして、無事に育つように世話をしよう。</p> <p>とうもろこしの種が鳥に狙われたり、草と間違えられたりすることを話し合う。 種まき後の世話の仕方を考えて、ロープをはったり看板を立てたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりをもって扱い、成長を願いながら種まきをしている。 ＜ア - ＞（手つき・つぶやき・カード） ・植物に合った世話の仕方が分かり、成長への願いをもって世話の工夫をすることができる。 ＜イ - ＞（つぶやき・発表） 	<ul style="list-style-type: none"> ・種まきの姿から、その背景にある児童の思いを問いかけ、引き出して学級に広める。 ・種は鳩やカラスなどのえさになることや、小さな芽が草と間違えやすいことを投げかけることで、世話の工夫を示唆する。 ・家や近所での世話の工夫について考えるよう助言する。
夏休み	野菜の世話をすることができる。 (イ)(カ)	水やり、草取りを親子で当番活動する。 家庭でミニトマトの収穫をする。		<ul style="list-style-type: none"> ・教師もしばしば世話をし、児童と会話をすることで、一人一人の野菜への思いを理解する。
8	とうもろこしの実っている様子を観察し、収穫することができる。 (イ)(カ)	<p>とうもろこしを収穫しよう。</p> <p>とうもろこしの実っている様子を見る。 とうもろこしの取り方を教えてもらう。 とうもろこしを自分で茎から取り、皮をむいて、食べられるようにきれいにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の成長の変化に気付いている。 ＜ウ - ＞（つぶやき・振り返りの内容） 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長の特徴を捉えられるよう、観察記録を振り返るよう助言したり、野菜づくり暦を振り返るよう言葉かけをしたりする。
9	大根の種を観察し、種の蒔き方を知り、名人さんに教えてもらいながら、成長を願って種まきをする。 (イ)(カ)	<p>名人さんに教えてもらって大根の種まきしよう。</p> <p>大根の種を観察し、今までの種に比べてかなり小さいことを知る。 種の蒔き方を名人さんに教えてもらいながら蒔く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりをもって扱い、成長を願いながら種まきをしている。 ＜ア - ＞（種の持ち方・つぶやき） 	<ul style="list-style-type: none"> ・種まきの姿から、その背景にある児童の思いを問いかけ、引き出して学級に広める。 ・どんな野菜を作りたいか丁寧に話し合い、交流し合う。

10	<p>今までの野菜の成長を振り返り、自分と野菜とのかかわりを野菜ニュースとして書くことができる。 (オ)(キ)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分と野菜のとおきニュースを書こう。</div> <p>野菜を育てながら見付けたことやそのときの気持ちを思い出す。 一番伝えたいことを中心に、ニュースを工夫して書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 野菜を育てて見付けたことを工夫して絵と文で表すことができる。 <イ->(作品) 野菜によって、成長の変化や世話の仕方が違っていったことに気付いている。 <ウ->(作品) 	<ul style="list-style-type: none"> 観察記録や生活科ファイルを振り返って自分が野菜づくりとかかわってきて、心に残っていることをいくつか拾い出し、自分とのかかわりで一番伝えたいことを書くよう手順を示す働きかけをする。
11 12	<p>収穫の喜びを感じながら、ていねいにさつまいもを掘り出すことができる。 (イ)(カ)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">さつまいもの収穫をしよう。</div> <p>つるをていねいにとる。 さつまいもを傷つけないように友だちと協力して掘る。 収穫できた喜びを交流する。 収穫できたさつまいもでどのような会を開き、誰と食べたいかを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分が大切にして世話をしてきたことで、野菜が成長したことに気付いている。 <ウ->(振り返りカード・つぶやき) 野菜づくり名人さんとかかわったことで、立派に収穫できたことに気付いている。 <ウ->(発言内容) 	<ul style="list-style-type: none"> 小さいもでも大切に扱っている児童の思いを取り上げ学級の中に広める。 収穫までの苦勞を思い出すよう助言する。
13 14	<p>収穫の喜びや感謝の気持ちを表す会を工夫することができる。 (オ)(ク)(コ)</p>	<p>どんな気持ちを込めた会にするとよいか話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">収穫の喜びや感謝の気持ちが表れる収穫パーティーができるように、工夫しながら準備をしよう。</div> <p>楽しい会になるように工夫しながら準備をする。 工夫したことを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 収穫の喜びや感謝の気持ちが伝わるか、友だちと互いに見合いながら準備している。 <ア->(行動観察) 収穫の喜びや感謝の気持ちが表れる会になるように、アイデアを出し、工夫することができる。 <イ->(振り返りカード・招待状) 	<ul style="list-style-type: none"> 常に、野菜を育ててきた世話と収穫とを結びつけて考えるよう言葉かけをする。 収穫の喜びや感謝を表すという内容と方法が結びつくよう言葉かけをする。 望ましい姿の児童の思いを引き出し、学級に広める。
15	<p>収穫の喜びや感謝の気持ちを込めて、楽しく収穫パーティーをすることができる。 (イ)(オ)(ク)(ケ)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">収穫の喜びや感謝の気持ちを込めた収穫パーティーをしよう。</div> <p>友だちと協力して、おやつ作りをする。 お世話になった人に、これまでの自分たちの世話やさつまいもの成長の様子について話す。 さつまいもの世話などについてのクイズを楽しんだり、おやつを食べたりする。 感謝の気持ちや楽しかったことを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> お世話になった方と積極的にかかわろうとしている。 <ア->(発表) お世話になった人に、自分ができるようになったこと、野菜を工夫して育てたことや感謝の気持ちを伝えることができる。 <イ->(会話内容・つぶやき) 	<ul style="list-style-type: none"> お世話になった人とかかわりがさらに深まるよう、活動形態を考えたり、かかわりのきっかけがもてるよう援助したりする。 事前に活動内容を十分把握し、めあてが達成できているか認め励ます。 お世話になった方からの他者評価もしていただく。
16 17	<p>さつまいもを大切に育てたことや、</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分たちがさつまいもを育てたことを伝</div>	<ul style="list-style-type: none"> 収穫の喜びや感謝の気持ちが伝わるか友だちと互いに見合いながら準備している。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとの相互評価ができるように促す。

<p>本時</p>	<p>できるようになったことを手紙に書いたり、高齢者の人に喜んでもらえるようおやつを作ったりして、野菜作りを通して自分が成長したことを伝える会になるように、工夫して訪問の準備をすることができる。 (イ)(オ)</p>	<p>えたり、おやつを作ったりする準備をして、すこやかタウンへ訪問する準備をしよう。</p> <p>野菜作りを通して、自分が成長したことを伝える会にすることを確認し合う。自分の取り組みたいことをペアで交流する。 自分の取り組みたいことを全体の場で発表し合う。 活動の約束を確かめる。 各活動場所で、友だちと協力しながら、工夫してさつまいもを大切に育ててきたことを伝える準備をする。 ・手紙や感謝状を書く。 ・おやつを作る。 ・世話の苦労や工夫、がんばったことなどを話す。 友だちの活動のよさに気付いたり、自分の活動を振り返ったりする。</p>	<p><ア - > (行動観察・友だちとの会話)</p> <p>・育ててきた野菜への親しみの思いや野菜作りをして初めて知ったこと、気付いたことを高齢者に伝える工夫をすることができる。 <イ - > (作品や高齢者に話すための原稿)</p>	<p>・準備ができたところから、互いに成果を見合い、評価し合うよう示唆するとともに、教師もお客さんになって、工夫ができてきているかの視点で認め励ましたり、さらに工夫するとよいところを方向付けたりする。 ・今まで育ててきた野菜に対する思いを、自分が作成した野菜ニュースや観察記録生活科のカードなどで振り返るよう助言する。</p>
<p>18</p>	<p>福祉センターを訪問して、野菜作りをして自分が成長したことを伝えたり、収穫の喜びを伝えたりすることができる。 (イ)</p>	<p>すこやかタウンを訪問して、おじいさんおばあさんと楽しく過ごそう。</p> <p>プレゼントのいも料理を渡す。 野菜を育てたことについて話す。 野菜についての質問やインタビューをして、交流する。</p>	<p>・野菜を大切に育ててきたことや、収穫できた喜びを伝えようとしている。 <ア - > (発表内容、会話)</p>	<p>・自分から話しかけられない子に寄り添い、話題のきっかけを作る。 ・実際にとりたいもやつるを持って収穫の喜びを実感しながら話ができるよう助言する。</p>
<p>19</p>	<p>成長の願いを込めて大根と小松菜の種まきをすることができる。 (イ)(カ)</p>	<p>小松菜の種まきをしよう。</p> <p>春蒔きの野菜と種の違いを観察する。 成長の期待を込めて、名人さんの話をしっかり聞きながらていねいに種まきをする。</p>	<p>・思いやりをもって扱い、成長を願いながら種まきをしている。 <ア - > (種まきの手つき・つぶやき)</p>	<p>・種に成長の願いを込めた児童の思いを引き出し、学級全体に広める。 ・種に声をかけながら、種まきをするように仕組む。</p>
<p>20</p>	<p>大根と小松菜の世話の仕方が分かり、間引きや草取りができる。 (イ)(カ)</p>	<p>野菜がよく育つように間引きや草取りの世話をしよう。</p> <p>葉がこみあっていることに気付く。 間引きの意味ややり方を知り、間引きや草取りをする。</p>	<p>・春蒔き野菜と秋蒔き野菜の育て方を比べながら、世話をすることができる。 <イ - > (つぶやき・発表)</p>	<p>・世話の違いに気付いた子を認め、全体へ広める。</p>
<p>21 22</p>	<p>収穫を喜び、助け合ってみんなで楽しむ会をすること</p>	<p>みんなで楽しくおでんパーティーをしよう。</p>	<p>・自分が大切にして世話をしてきたことで、野菜が成長したことに気付いている。 <ウ - > (振り返りカード・つぶやき)</p>	<p>・今までの世話の苦労を振り返るよう助言する。</p>

	<p>ができる。 (イ)(ク)(コ)</p>	<p>大根を収穫する。 おでんの作り方が分かり、友だちと助け合っておでんを作って食べる。</p>	<p>・野菜づくり名人さんとかかわったことで、立派に収穫できたことに気付いている。 <ウ- > (つぶやき・発言内容)</p>	<p>・世話の苦勞や工夫を話し合う中で、名人さんの存在に気付くようにする。</p>
23	<p>大根のつけものの作り方を名人さんに教えてもらい、つけものづくりをすることができる。 (イ)(キ)</p>	<p>大根のつけものの作り方を教えてもらい、つけもの作りをしよう。</p> <p>大根を洗ったり、道具や調味料の準備をする。 名人さんの話を聞きながら、大根と一緒につける。</p>	<p>・季節に合わせて、野菜を工夫して食べることに気付いている。 <ウ- > (つぶやき・カード)</p>	<p>・夏に収穫できた野菜や秋に収穫できた野菜の食べ方を思い出すよう助言する。</p>
24	<p>1年間の野菜作りを振り返り、成長や収穫の喜び、苦勞したことなどを絵と文でまとめることができる。 (オ)(キ)(ケ)</p>	<p>野菜作りを振り返って、一番の思い出をまとめよう。</p> <p>育ててきた野菜の成長の変化や自分が育ててきたことについて振り返る。 野菜への思いや成長、収穫の喜び、苦勞などを絵や文で表す。</p>	<p>・野菜を大切に育ててきたことや、収穫できた喜びを伝えようとしている。 <ア- > (作品)</p> <p>・一番心に残っていることや、自分がしてきた世話や苦勞について表現することができる。 <イ- > (作品)</p>	<p>・自分がしてきた野菜への世話や苦勞などを書いている児童を認め、学級に広める。 ・今まで記録してきたカードや写真など、生活科のファイルを振り返るよう助言する。 ・野菜作り暦などの掲示物を思い出す手掛かりとするよう助言する。</p>
25	<p>1年間お世話になった名人さんに感謝の気持ちを伝える方法を考えることができる。 (イ)(ケ)</p>	<p>名人さんにありがとうの気持ちを伝える会を計画しよう。</p> <p>お世話になったことや、うれしかったことを思い出そう。 ありがとうの気持ちを伝えるにはどうしたらよいか意見を出し合い考える。</p>	<p>・感謝の気持ちを伝えるには、自分ができるようになったことや、野菜を育てた楽しさを伝えればよいことに気付いている。 <ウ- > (発表内容・つぶやき)</p>	<p>・さつまいもパーティーの時間を思い出して、どんな内容でどんな会をすることが好ましいか助言する。</p>
26	<p>お世話になった名人さんに、感謝の気持ちが伝わるような会を開くことができる。 (イ)(ケ)</p>	<p>名人さんに喜んでいただけるような会をしよう。</p> <p>感謝の気持ちを込めて手紙を渡す。 一緒に野菜作りの思い出を振り返り、自分たちができるようになったこと、うれしかったことを伝え、感謝の気持ちを表す。</p>	<p>・お世話になった人に、自分ができるようになったこと、野菜を工夫して育てたことや感謝の気持ちを伝えることができる。 <イ- > (会話内容・つぶやき)</p>	<p>・自信をもって、自慢げに話ができるように事前に手紙の内容を把握し、一人一人に評価しておく。</p>

/
振り返る

- ・さつまいもがどうやってできたかお話ししよう。
- ・おもしろい形のおいもをどうやって掘ったか話そう。
- ・絵を描いてよくわかるようにしよう。
- ・さつまいものことをいろいろ聞いて教えてもらおう。

6. 友だちの活動のよさに気付いたり、自分の活動を振り返ったりする。

< 友だちの活動のよいところを聞く。 >

- ・さつまいもを掘る時に、折らないようにそっと土を周りから掘っていったことが書けていて、さつまいもを大切にしてきた気持ちがおじいさんたちに伝わるね。(手紙)
- ・お年寄りのことを考えて、食べやすい大きさにしようと、いろいろな大きさのものを作って試していたね。(おやつ作り)
- ・掘った時にいくつもつながっていたので、他のいもを折らないように掘ったら、11個もくっついてたことを絵を描いて説明しやすくしていたね。(お話)

< 自分の活動を振り返り交流する。 >

- ・ペアで交流する。
- ・全体で交流する。

いる。

- ・今まで野菜作りをしてきたことを振り返り、苦労やがんばったこと、できるようになったこと、うれしかったことを身振りなど加えて分かりやすく話ができるように工夫したり、練習したりしている。

の理由などを聞いてみて、相手を意識した工夫について活動の方向性を示す。

- ・今までの観察記録や生活科ファイルを出し、振り返るよう助言する。

- ・本時のねらいに結びつく児童の姿を紹介し、その視点で自分を振り返り語るができるようにする。

5 評価の実際と個に応じた指導事例

本時重点的に取り上げた評価基準と評価の方法、児童の実際の姿

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<p>本時評価規準に評価方法を取り上げた</p>	<p>活動や体験についての思考・表現 <イ - ></p> <p>育ててきた野菜への親しみの思いや野菜作りをして初めて知ったこと、気付いたことを高齢者に伝える工夫をすることができる。</p> <p>(友だちとの会話内容・作品や原稿)</p>
<p>評価の視点</p>	<p>「おおむね満足できる」状況 B</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分ができるようになったことやがんばったこと、お礼の言葉を考えて、カードに工夫して書いている。 高齢者のことを考え、食べやすくおいしいおやつにするために味付けや大きさについて考えを出している。 今まで野菜作りをしてきたことを振り返り、苦労やがんばったこと、できるようになったこと、うれしかったことを身振りなど加えて分かりやすく話ができるように工夫したり、練習したりしている。
<p>児童の実際の姿</p>	<p>手紙、感謝状を書いた児童</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくたちは、800個もさつまいもを育てることができるようになるほど、1年で成長しました。 B 夏の暑いときに、水やりや草取りを一生懸命やってきたので、りっぱなさつまいもがたくさんとれました。 A 大きくなあれと声をかけたら、大きく育ちました。とびきりおいしいです。 A <p>世話の苦労やがんばり、大切に育てたことが記述されていたのでA</p> <p>おやつ作りをした児童</p> <ul style="list-style-type: none"> おじいさんが食べやすいように中くらいのにしてみよう。 B ビニールをよごさないように、包もう。 B 同じ大きさで作った方が食べやすいからそうしよう。 B 砂糖を少し入れるとちょうどいい甘さになるからおいしく食べてもらえる。 B <p>世話をしたことやさつまいものことなどの話をする児童</p> <ul style="list-style-type: none"> 苗をななめに植えて、大きくなってねと声をかけました。そしたら、大きく育ちました。 A 私が見つけたいものは、赤ちゃんがゆりかごに乗って揺れているようなゆりかごの形をしていたので、「ゆりかごいも」と名前をつけました。 B ぼくが見つけたいものは線がかぼちゃのようについて、「かぼちゃいも」と名付けました。どんな味がするか今から楽しみです。 B <p>畑名人に教わったことをきちんと守って苗植えしたことで、立派に大きくなったと感謝の気持ちが内在化している。また、大きく育ったのは、教わったことを忠実に守った自分があることにも気付いているのでA</p>

「おおむね満足できる」状況に達していないと判断した児童の姿と指導・援助、その後の変容

次の児童はお話をするグループに所属していたが、自分の伝えたいことが見つからず、数分経っても原稿は全く書けない状態であった。教師は「努力を要する」状況と判断。



教師の指導・援助

児童に寄り添い問いかけた。
「夏休みにあなたが頑張ったことは何だったかな。」
・過去のその児童の作品等の累積から、夏休みの草取りのがんばりを評価していた。そのことを思い出すよう働きかけをした。

< 授業の終末時の姿 >



夏休みにお母さんと汗びっしょりになって草取りをしました。だから、たくさんのさつまいもがとれました。と原稿用紙に記入。隣の友だちと早速、目の前に高齢者の方が聞いていると想定し、発表の練習を自信をもって始めた。
Bと判断